

8.15「不戦を誓う日の集会」

被爆地 広島・長崎だけでなく、誰もが当事者として！

核兵器に依存しない安全保障を



【プロフィール】中村桂子（なかむら・けいこ）

神奈川県生まれ。長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授。2001年から12年まで、特定非営利活動法人ピースデポ（横浜）の研究員・事務局長（2005年～12年）として核問題に取り組む。2012年より現職。研究分野は核軍縮、核兵器廃絶と市民社会の役割。若い世代を対象とした軍縮・平和教育に関する研究・実践にも力を注いでいる。近著に『核兵器のある世界とこれからを考えるガイドブック』（法律文化社、2020年）。

ロシアのウクライナ侵攻と「核の恫喝」に対する抗議声明

日 時：2023年**8月15日**（火）午後18：00～

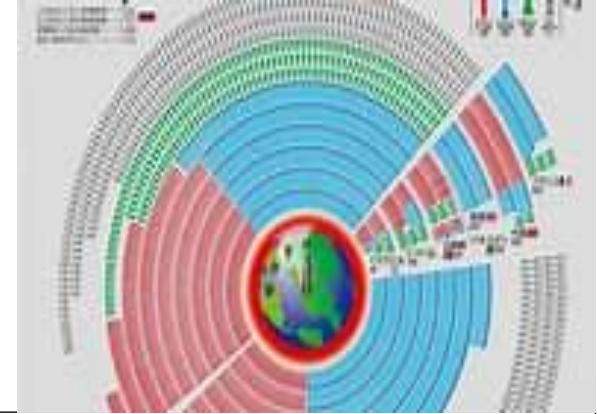
場 所：鹿児島市国際交流センター1階多目的ホール

鹿児島市加治屋町19-18 ☎099-226-5931

講 師：中村 桂子（ナカムラ ケイコ）さん

テーマ：「核なき未来への分岐点～何を学び、活かす～」

主催：原水爆禁止鹿児島県民会議 TEL099-252-8585



ロシアのウクライナ侵攻で、現実味を帯びてきた「原発攻撃」と「核使用」。核兵器禁止条約に批准も署名もしない日本政府にとって、核の傘や核兵器禁止条約の批准・署名、核なき世界の実現は「難解」な課題なのでしょうか？中村先生は「核問題に正解はなく、知れば知るほどモヤモヤするかもしれない。それでも自分の頭で考える力を養ってほしい」。核を巡る国際情勢が混迷を深める中だからこそ「誰もが当事者として向き合って議論し、解決策を導き出してほしい」と訴えています。私たちも当事者として中村先生に学び、今後の活動に活かしていくべきだと思います。

入場料は無料！ どなたでも参加できます！

